4-256-703-**04**(1)

LCD モニター

取扱説明書

LMD-2341W
LMD-2041W
LMD-1541W

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
7ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶ 電源を切ります。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
❸ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

目次

警告

下記の注意を守らないと、
火災や**感電**により**死亡**や**大けが**に
つながることがあります。

アース線を接続せよ

安全アースを接続する

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

禁止

ファンエラーが起きている状態で使用しない

本機では、ファンに何らかの異常が起きると前面パネルの ⏻（スタンバイ）スイッチのインジケーターが緑とアンバーで点滅します。このまま使用し続けると、内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けががをしたり周辺の物品に損害を
与えることがあります。

指示

モニターを移動させるときはモニター側面の下部を持つ

モニター側面の下部を持たないと、モニターが落下してけがの原因になることがあります。

禁止

DC IN 端子に規格以外の入力電圧をかけない

DC IN 端子に規格以外の入力電圧をかけると火災や感電の原因となることがあります。

指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

指示

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
壁面や天井などへの設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1 年に 1 度は、取り付けがゆるんでないことを点検してください。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてケガの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

指示

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

指示

専用ブレーカーまたはスイッチを設ける

万一、異常が起きた場合は火災や感電の原因になることがあります。ご使用の際は、本機の近くの容易に接近できる屋内配線内に専用ブレーカーまたはスイッチを設けるか、または本機の使用中でも容易に抜き差しできるコンセントに電源コードを接続してください。

指示

モニタースタンドを使用する

本機にはスタンドが取り付けられていません。使用の際にはモニタースタンドあるいはマウンティングブラケットなどを使用してください。スタンドなどを取り付けないまま使用すると、モニターが転倒、落下しけがの原因になることがあります。

指示

スタンド取り付け、取りはずしの際はモニターを横にする

スタンドの取り付け、取りはずしの際にはテーブルの上などにモニターの画面を下にして置いてから行ってください。モニターを立てたままスタンドの取り付け、取りはずしを行うとモニターが転倒、落下してけがの原因になることがあります。

指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
十分注意して接続・配置してください。

安定した場所に設置する

製品が倒れたり、搭載した機器が落下してけがをすることがあります。
十分な強度がある水平な場所に設置してください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動の際は電源コードや接続ケーブルを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

その他の安全上のご注意

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

本機をラックに設置するときは、ラックと本機の間に、上下部に 4.4 cm以上、後面に 10cm 以上の空間を確保してください。

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のご注意

液晶画面について

液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、LCD（液晶）パネルの故障の原因になります。
寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

焼き付きについて

一般に、LCD（液晶）パネルは、焼き付きが起こることがあります。画面内の同じ位置に変化しない画像の表示を続けたり、くり返し表示したりすると、焼き付いた画面を元に戻せなくなります。

長時間の表示で焼き付きが発生しやすい画像

- 画面縦横比 16:9 以外のマスク処理された画像（LMD-2341W/LMD-2041W）
- 画面縦横比 15:9 以外のマスク処理された画像（LMD-1541W）
- カラーバーや長時間静止した画像
- 設定や動作状態を示す文字やメッセージなどの表示

焼き付きを軽減するには

- 文字表示を消す
  MENU ボタンを押して、文字表示を消します。接続した機器の文字表示を消すには、接続した機器を操作してください。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源をこまめに切る
  長時間使用しないときは、電源を切ってください。

長時間の使用について

固定された画像または静止画などの長時間連続表示や、高温環境下で連続運用した場合、LCD（液晶）パネルの特性上、残像や焼き付き、しみ、すじ、輝度低下などを発生することがあります。

特に、アスペクト変更などで表示エリアよりも狭いサイズで表示し続けた場合、パネル劣化の進行が早まるおそれがあります。
静止画などの長時間連続表示、または密閉された空間や空調機器の吹き出し口付近など高温多湿環境下における連続運用を避けてください。

モニター使用時に輝度を少し下げたり、モニター未使用時に電源を切ったりするなどして、上記のような現象を未然に防ぐことをおすすめします。

LCD（液晶）パネルの輝点・滅点について

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99％以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

モニター画面のお手入れについて

モニターの画面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- スクリーン表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ急に移動させたり、機器が温かい状態で設置箇所の冷房等を入れ、急速に機器周辺が冷却されたりすると、機器表面や内部に水滴が生じたり、保護パネル付きモデルはその内側が曇ることがあります。
この現象を結露といい、故障ではありません。
しかし結露は、機器の故障の原因になることがあります。
結露が生じない場所に本機を設置してください。
結露が生じたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。

ラックマウントについて

ラックマウント時は、性能維持のため上下に1U空けて、通気孔の確保や通気ファンの設置を行ってください。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
  （LMD-2341W/LMD-1541W）

ファンエラーについて

本機には冷却用ファンが内蔵されています。前面パネルの ⏻（スタンバイ）スイッチのインジケーターが緑とアンバーで点滅した場合（ファンエラー警告）は、電源を切り、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

この取扱説明書について

本書は次のLCDモニターについて説明しています。

- LMD-2341W
- LMD-2041W
- LMD-1541W

イラストはLMD-2341Wを使用して説明してあります。
説明が異なる場合は、別々に説明してありますので該当する部分をお読みください。

特長

LMD-2341W（23.0 型）および LMD-2041W（20.0 型）、LMD-1541W（15.3 型）は高精細、高性能の放送／業務用マルチフォーマット液晶モニターです。デジタルとアナログの主要放送信号および HDMI[1] 入力に対応し、スタジオや中継車のモニターウォールやラックなどでのモニタリングに適した機能を備えています。

[1] HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

高性能 LCD パネル

高精細、広視野角特性と高速応答で優れた色再現を提供します。

コンパクトで軽量かつ堅牢な筐体

ベゼルの細いコンパクトな外形、軽量かつ堅牢なアルミ筐体は、壁やラックへのマウントにも適しています。放送中継車への重量負担も軽減され、空間を効率的に利用できます。

外部リモート機能

シリアルリモート（Ethernet）で外部接続機器から入力選択や各種調整ができます。
Ethernet (10BASE-T/100BASE-TX) により、モニターとコントロールユニットを合わせて 32 台（コントロールユニットは最大 4 台）接続し、ネットワーク上でリモートコントロールができます。モニター ID No. やグループ ID No. を指定して、特定のモニターまたは特定グループのモニターだけを操作できます。また、接続しているすべてのモニターのセットアップ状態を統一したり、同時に同じ動作を実行することもできます。

◆ 詳しくは、「リモートメニュー」のシリアルリモート（35 ページ）をご覧ください。
モニターコントロールユニット BKM-15R/16R（別売）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

IMD（インモニターディスプレイ）機能

外部リモート機能を利用して、モニターの画面上にソース名やタリー情報を表示させることができます。

◆ 詳しくは、「IMD（インモニターディスプレイ）設定」（28 ページ）をご覧ください。

入力波形（ウェーブフォーム）／オーディオレベル表示機能

入力信号の波形やオーディオレベル（エンベディッドオーディオのみ対応）を画面に表示することができます。

◆ 詳しくは、「WFM/ALM（ウェーブフォームモニター／オーディオレベルメーター）画面設定」（29 ページ）をご覧ください。

タイムコード表示機能

SDI 信号上のタイムコード情報を画面に表示することができます。

◆ 詳しくは、「T/C（タイムコード）画面設定」（28 ページ）をご覧ください。

I/P モード選択機能

インターレース信号用の I/P 変換の種類を、目的に合わせて選択することができます。

◆ 詳しくは、「システム設定」（26 ページ）をご覧ください。

色域変換機能

3 種類の色域（SMPTE-C/EBU/ITU-R BT.709）をメニューで選択することができます。

画面の表示切り換え

放送業務用モニターとして便利な各種項目を画面に表示できます。
センターマーカー、アスペクトマーカー、スキャンなど、用途や目的にあわせて切り換えて選択表示します。

◆ 詳しくは、「マーカー設定」（27 ページ）、「ファンクションボタン設定」のスキャン（30 ページ）をご覧ください。

スキャン切り換え／ネイティブ表示機能

ビデオ信号入力時に 0% スキャン（ノーマル）、5% オーバースキャン（オーバー）、ズーム（フルスクリーン）の画面サイズが選択できます。
信号のピクセルをパネルのピクセルに 1:1 でマッピングするネイティブ表示機能も搭載しています。非スクエアピクセルの SD 信号（信号システムの H ピクセル数が 720 または 1440）または HDMI ビデオの 640 × 480 の SD 信号では、画面アスペクト比が正しくなるように H 方向にスケーリング処理しています。

キーロック機能

各種調整キーの誤操作を防ぐため、調整キーをロックできます。

イルミネーション付きコントロールパネル

暗い場所でもコントロールパネルが見やすいように、ボタンの名称を示す文字類を光らせることができます。
また、周囲の明るさに合わせて、ボタンの LED の明るさを 2 段階に調節できます。

ラックマウント

LMD-2341W および LMD-2041W、LMD-1541W は VESA（100 × 100mm）に準拠します。LMD-2041W および LMD-1541W は、EIA19 インチラックへも搭載できます。（LMD-2041W は付属のマウンティングブラケットを、LMD-1541W は別売マウンティングブラケット MB-534 をそれぞれ使用）

◆ 詳しくは「ラックへの取り付け」（17 ページ）をご覧ください。

壁への設置については、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

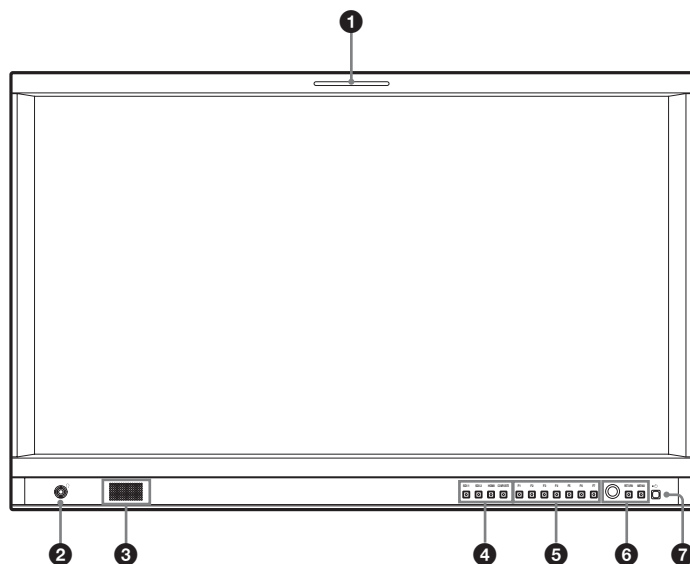
チルト機能付きモニタースタンド（別売）

LMD-2341W および LMD-2041W、LMD-1541W は、チルト機能および高さ調節機能のついた別売のモニタースタンド SU-561 を装着することができます。
スタンド取り付け位置を変更することで画面の高さを選べます。

◆ 詳しくは、「スタンドの高さを調節する」（17 ページ）をご覧ください。

LMD-1541W は、小型軽量でチルト機能のついた別売のモニタースタンド SU-562 も装着することができます。

各部の名称と働き

前面パネル

❶ タリーランプ
入力画面のモニター状態を色によって表示することができます。
リモートメニューのパラレルリモートの設定に応じて、赤、緑、アンバーで点灯します。

❷ 🎧（ヘッドホン）端子
入力切り換えボタンで選んだ入力信号のステレオ音声が出力されます。

❸ スピーカー
入力切り換えボタンで選んだ入力信号の音声がモノラル（L + R）で出力されます。
SDI 信号を入力した場合は、「ユーザー設定メニュー」のオーディオ設定で選択された音声が出力されます（33 ページ参照）。
スピーカーから出力されている音声は、後面の AUDIO OUT 端子から出力されます（14 ページ参照）。
🎧端子にヘッドホンなどが接続されているときは音声が出力されません。

❹ 入力切り換えボタン
各端子に入力された信号をモニターするとき押します。

SDI 1 ボタン：SDI 1 入力端子からの信号をモニターするとき
SDI 2 ボタン：SDI 2 入力端子からの信号をモニターするとき
HDMI ボタン：HDMI 端子からの信号をモニターするとき
COMPOSITE ボタン：COMPOSITE IN 端子からの信号をモニターするとき

❺ ファンクションボタン
割り当てられた機能をオン／オフすることができます。
工場出荷時は次の設定になっています。
F1 ボタン：ブライト
F2 ボタン：コントラスト
F3 ボタン：クロマ
F4 ボタン：スキャン
F5 ボタン：H/V ディレイ
F6 ボタン：音量
F7 ボタン：I/P モード
「ユーザー設定メニュー」のファンクションボタン設定で各種機能を割り当てることができます。

ブライト、コントラスト、クロマ、音量の機能が割り当てられたボタンは、一度押すと画面上に調整画面が表示

されます。もう一度押すと調整画面が消え、消えた状態で画面や信号を見ながら調整できます。

◆ 割り当てられる機能について詳しくは、30ページをご覧ください。

❻ メニュー操作ボタン

メニュー画面の表示や設定をします。

メニュー選択つまみ

メニューが表示されているとき、つまみを回してメニュー項目および設定値を選択し、つまみを押して確定します。

ボタンの名称を示す文字類を点灯させるには

メニューが表示されていないときにメニュー選択つまみを押します。もう一度押すと消えます。

信号フォーマットを表示させるには

メニューが表示されていないときにメニュー選択つまみを2秒以上長押しします。

RETURN（リターン）ボタン

メニュー画面が表示されているときこのボタンを押すと、調整した項目の調整値を1つ前の状態に戻します（一部の項目を除く）。

ファンクションボタンに割り付けられている機能を表示させるには

メニューが表示されていないときにRETURNボタンを押します。ユーザー設定メニューのファンクションボタン設定で選択された機能が画面右下に表示されます。

MENU（メニュー）ボタン

メニューを表示したり表示を消したりするときに使います。

押すとメニューが表示され、もう一度押すと消えます。

❼ ⏻（スタンバイ）スイッチとインジケーター

本機がスタンバイ状態のとき押すと電源が入り、インジケーターが緑で点灯します。

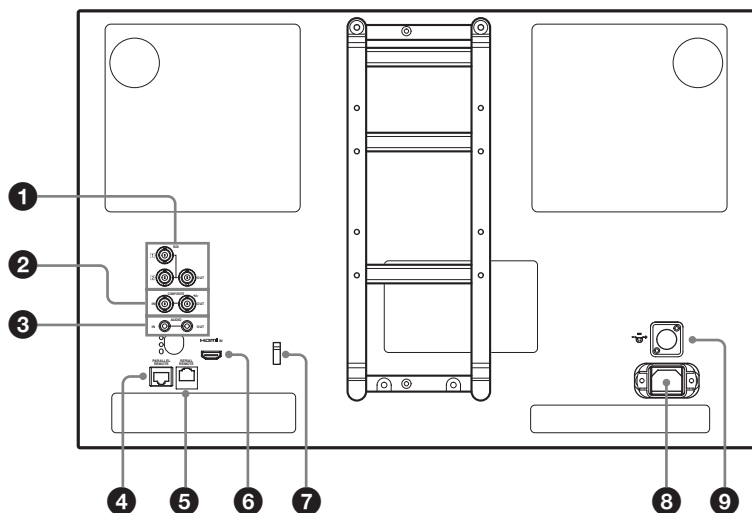
もう一度押すとスタンバイ状態になり、インジケーターが消灯します。また、ファンエラー時は緑とアンバーで点滅します。節電モード時はアンバーで点灯します。

入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号							
	コンポジット		SDI			HDMI/DVI*5		
	カラー	白黒	SD	HD	3G	SD	HD	PC
コントラスト *1	○	○	○	○	○	○	○	○
ブライト *1	○	○	○	○	○	○	○	○
クロマ *1	○	×	○	○	○	○	○	○
フェーズ *1	○ (NTSC)	×	×	×	×	×	×	○
アパーチャー	○	○	○	○	○	○	○	○
色温度	○	○	○	○	○	○	○	○
カラースペース	○	○	○	○	○	○	○	○
オートクロマ / フェーズ	○	×	×	×	×	×	×	×
ACC	○	×	×	×	×	×	×	×
CTI	○	×	×	×	×	×	×	×
垂直シャープネス	○	○	○	×	×	○	×	×
NTSC セットアップレベル	○ (NTSC)	○ (480/60I)	×	×	×	×	×	×
スキャン	○	○	○	○	○	○	○	×
アスペクト	○	○	○	×	×	○	×	×
マーカー	○	○	○	○	○	○	○	×
ブルーオンリー	○	×	○	○	○	○	○	×
MONO	○	×	○	○	○	○	○	×
H/V ディレイ	○	○	○	○	○	×	×	×
シフト	○	○	○	○	○	○	○	×
パワーセービング	○	○	○	○	○	○	○	○
I/P モード *2	○	○	○	○	○	○	○	×
WFM/ALM*3	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラフォーカス	○	○	○	○	○	○	○	×
RGB レンジ *4	×	×	×	×	×	○	○	○
T/C	×	×	○	○	○	×	×	×
IMD	○	○	○	○	○	○	○	○
DVI*5	×	×	×	×	×	○	○	○
SD ピクセル数選択 *6	○	○	×	×	×	×	×	×

○：調整・設定できる項目
×：調整・設定できない項目

*1 SUB CONTROL の設定も同様です。
*2 インターレース信号のみ可能です。
*3 WFM と ALM の音声レベルは、SDI 入力時に SDI オーディオ設定でチャンネルを選択したときに表示されます（29 ページ「表示選択」参照）。
*4 HDMI 信号の RGB フォーマット入力のとき設定できます。
*5 HDMI IN 端子に DVI 変換ケーブルを接続して DVI 信号を入力したとき、調整・設定できます。
*6 LMD-2041W のみ設定できます。

後面パネル

❶ **SDI（3G/HD/SD）入出力端子（BNC 型）**

1（入力）端子、2（入力）端子

シリアルデジタルコンポーネント信号の入力端子です。
2 系統（SDI 1 と SDI 2）の入力に対応します。

OUT 端子

シリアルデジタルコンポーネント信号の出力端子です。

ご注意

- OUT 端子からの出力信号は、本線系としての規格を満たしていません。
- OUT 出力は、電源が入っているときに出力されます。スタンバイ状態では出力されません。

❷ **COMPOSITE（コンポジット）入出力端子（BNC 型）**

IN 端子

コンポジットビデオ信号の入力端子です。

OUT 端子

ループスルー出力端子です。

ご注意

本機へジッターなどがあるビデオ信号を入力すると、画像が乱れることがあります。その場合は、TBC（タイムベースコレクター）の使用をおすすめします。

❸ **AUDIO（音声）入出力端子（ステレオミニジャック）**

IN 端子

VTR などの外部機器の音声出力端子と接続します。

OUT 端子

前面の入力切り換えボタンで選んだ信号の音声信号が出力されます。
SDI 信号を選んだ場合は「ユーザー設定メニュー」のオーディオ設定で選択されたチャンネルの音声か AUDIO IN 端子に入力された音声を選択して出力できます。

❹ **PARALLEL REMOTE（パラレルリモート）端子（モジュラーコネクター、8 ピン）**

パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

◆ ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、38 ページをご覧ください。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。
接続については本書の指示に従ってください。

❺ **SERIAL REMOTE（シリアルリモート）端子（RJ-45 型）**

10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル（シールドタイプ、別売）でネットワークの LAN（10/100）端子また

はソニーモニターコントロールユニット BKM-15R/16R に接続します。

◆ 詳しくは「プログラマー用インターフェース解説書」（付属の CD-ROM に収録、日本語と英語のみ）をご覧ください。

ご注意

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。
  接続については本書の指示に従ってください。
- LAN ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。
- ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は 10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や通信品質を保証するものではありません。

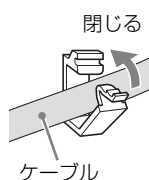
❻ HDMI 入力端子

HDMI 信号を入力します。
HDMI 信号（High-Definition Multimedia Interface）とは、デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま 1 本のケーブルで送ることができるインターフェースです。高品質な映像が表示できます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術である HDCP にも対応しています。

ご注意

HDMI ケーブル（別売）は、HDMI ロゴを取得したケーブルをご使用ください。

❼ HDMI ケーブルホルダー

HDMI ケーブル（ϕ7 mm 以下）を固定します。

❽ AC IN ソケット

付属の電源コードを接続します。

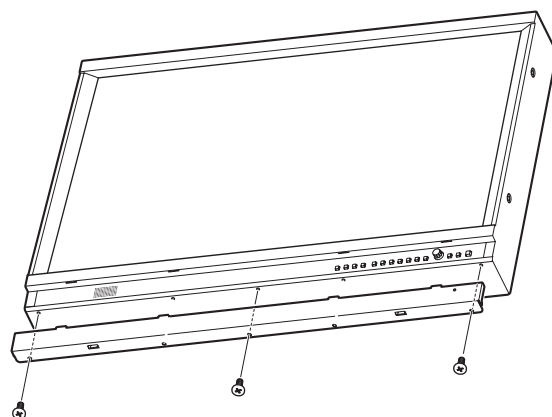
❾ ⎓ （DC IN）端子

外部 DC 電源を接続することにより、本機を動作させることができます。
LMD-2341W は DC 24V で、LMD-2041W と LMD-1541W は DC 12V で動作します。

⚠注意

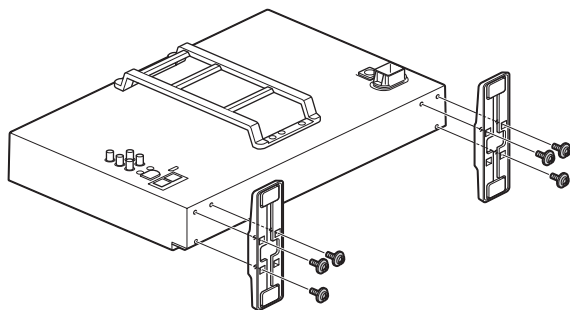
必ず指定の電圧値の電源を接続してください。

コントロールパネルカバーの取り付け（LMD-2341W のみ）

LMD-2341W は前面のコントロールパネルに付属のカバーを取り付けることができます。
モニター底部に付属のネジで取り付けます。

ご注意

付属のスタンドを使用する場合、コントロールパネルカバーを取り付けることはできません。

スタンドの取り付け（付属のスタンドを使用）

モニター底部に付属のネジで取り付けます。

ご注意

LMD-2341W で付属のスタンドを取り付けた場合、コントロールパネルカバーは使用できません。

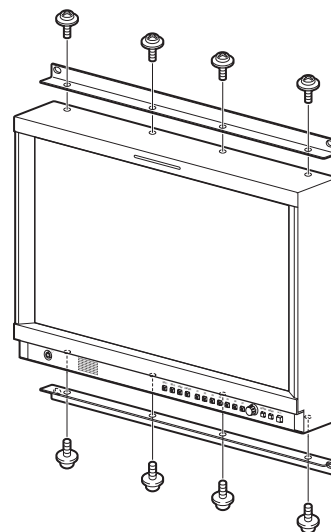
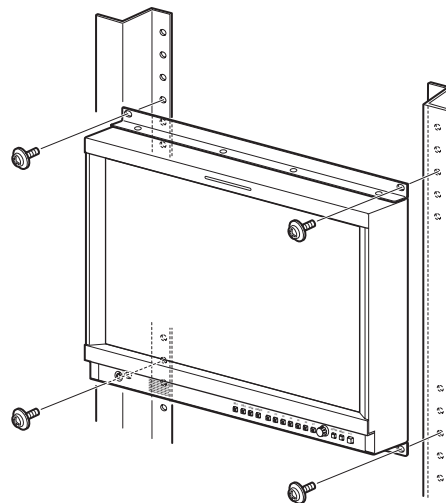
ラックへの取り付け（LMD-2041W のみ）（付属のマウンティングブラケットを使用）

付属のマウンティングブラケットを使用して、本機をラックに取り付けることができます。

1 マウンティングブラケットを取り付ける。

モニターの上部と底部に付属のネジで取り付けます。

2 ネジ 4 本でラックに取り付ける。

ご注意

ネジは付属されていません。ラックに応じたネジをご用意ください。

ラックへの取り付け（LMD-1541W のみ）（MB-534 を使用）

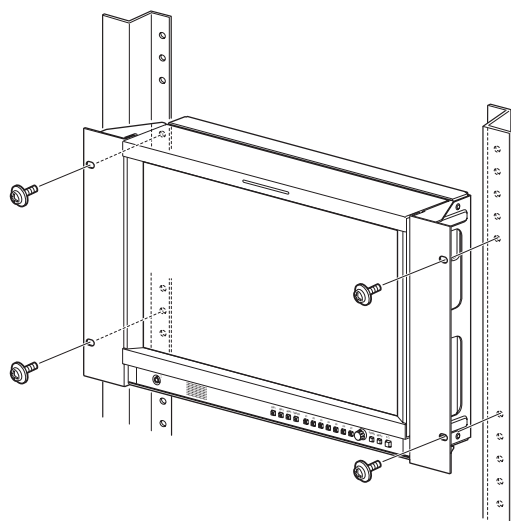
別売のマウンティングブラケット MB-534 を使用して、本機をラックに取り付けることができます。

1 マウンティングブラケットを取り付ける。

◆ 取り付けかたについて詳しくは、マウンティングブラケットの取付説明書をご覧ください。

2 ネジ 4 本でラックに取り付ける。

ご注意

ネジは付属されていません。ラックに応じたネジをご用意ください。

スタンドの高さを調節する（SU-561 を使用）

LMD-2341W および LMD-2041W、LMD-1541W には別売のモニタースタンド SU-561 を装着することができます。スタンド取り付け部の位置とアームを取り付ける位置を変えることにより、モニターの高さを 4 段階に変えることができます。
表中の A、B は、手順 **2** および **4** のイラストのネジ穴を示しています。

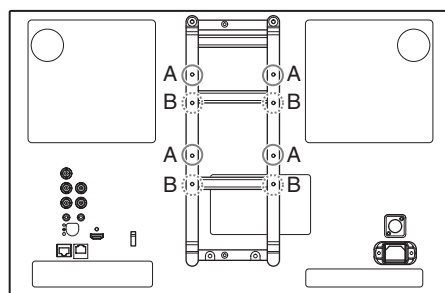
モニターの高さ

単位：mm

スタンド取り付け部位置	A	A	B	B
アーム取り付け位置	B	A	B	A
LMD-2341W	406.1	432.4	441.1	467.4
LMD-2041W	368.4	394.7	425.7	452.0
LMD-1541W	362.6	388.9	397.6	423.9

ここでは、スタンドの高さを調節する方法について説明します。モニターに SU-561 を取り付ける方法については、SU-561 の取付説明書をご覧ください。

1 すでにスタンドが取り付いている場合、スタンドとスタンド取り付け部を取りはずす（18 ページ参照）。

2 A または B のネジ穴にスタンド取り付け部を取り付ける。

A：モニターの位置を低くするときに使用するネジ穴
B：モニターの位置を高くするときに使用するネジ穴

3 スタンド取り付け部をネジ 4 本で固定する。

手順 1 でスタンドとスタンド取り付け部を取りはずした場合

「スタンドとスタンド取り付け部の取りはずし」の手順 5 ではずしたネジを使います。

手順 2 から行った場合

SU-561 に付属のネジを使います。

4 アームを取り付ける。

5 アームをネジ 4 本で固定する。

手順 1 でスタンドとスタンド取り付け部を取りはずした場合

「スタンドとスタンド取り付け部の取りはずし」の手順 3 ではずしたネジを使います。

手順 2 から行った場合

SU-561 に付属のネジを使います。

6 アームカバーを取り付ける。

スタンドとスタンド取り付け部の取りはずし

1 柔らかいシートの上に LCD モニター面を下にして置く。

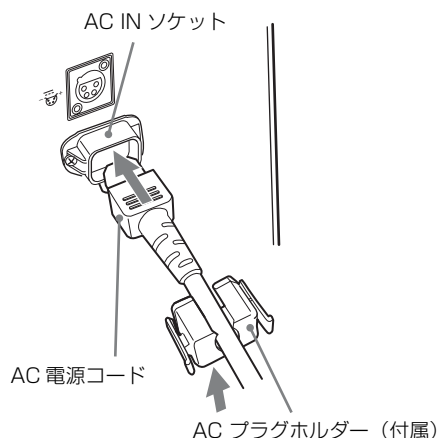
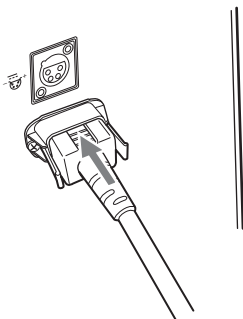
2 スタンドのアームカバーを上へスライドしてはずす。

3 ネジ 4 本をはずす。

4 アームを取りはずす。

5 ネジ 4 本をはずして、スタンド取り付け部を取りはずす。

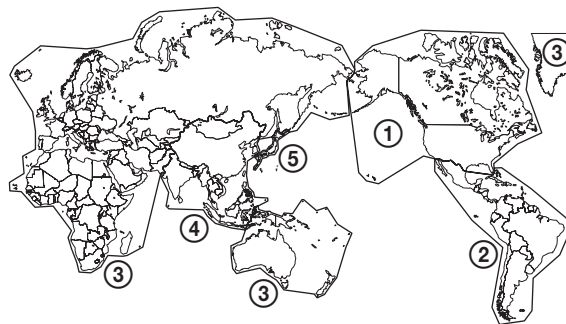
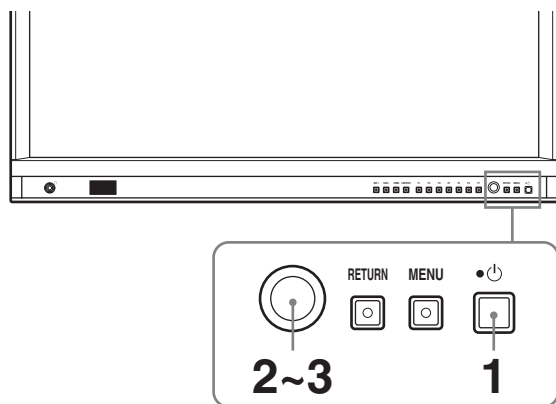
電源コードの接続

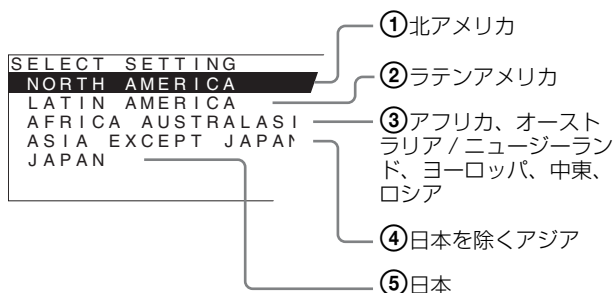
1 AC 電源コードを後面の AC IN ソケットに差し込み、AC 電源プラグホルダーを AC 電源コードに取り付ける。

2 固定レバーがロックするまで、AC 電源プラグホルダーをはめこむ。

電源コードをはずすには

AC 電源プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。

基本設定の選択

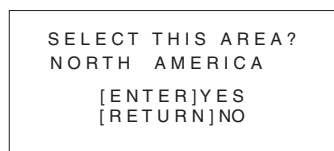
はじめてお使いになるときはお使いになる地域の選択を行ってください。
地域を選択すると、メニュー内の各項目がお使いの地域に合った値に設定されます。

地域別基本設定値

		色温度	NTSC セットアップ	カラースペース
①**NORTH AMERICA**		D65	7.5	SMPTE-C
②**LATIN AMERICA** PAL&PAL-N AREA	ARGENTINA	D65	0	EBU
	PARAGUAY	D65	0	EBU
	URUGUAY	D65	0	EBU
NTSC&PAL-M AREA	OTHER AREA	D65	7.5	SMPTE-C
③**AFRICA AUSTRALASIA EUROPE MIDDLE-EAST**		D65	0	EBU
④**ASIA EXCEPT JAPAN**	NTSC AREA	D65	7.5	SMPTE-C
	PAL AREA	D65	0	EBU
⑤**JAPAN**		D93	0	EBU

1 ⏻（スタンバイ）スイッチを押す。

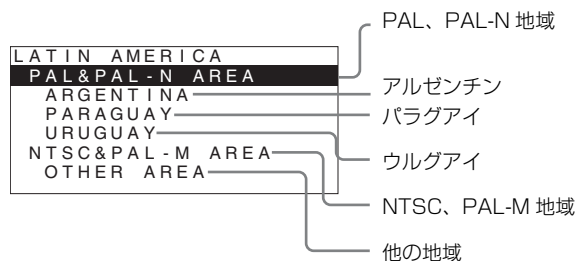
本機の電源が入り、SELECT SETTING 画面が表示されます。

2 メニュー選択つまみを回して、本機をお使いになる地域を選び、メニュー選択つまみを押す。

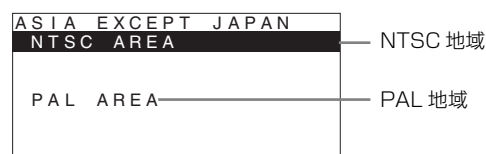
①、③、⑤ が選ばれたとき

確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。
間違っている場合は、RETURN ボタンを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

```
SELECT THIS AREA?
NORTH AMERICA
    [ENTER]YES
    [RETURN]NO
```

②、④ が選ばれたとき

次の画面が表示されますのでメニュー選択つまみで再度地域を選んでメニュー選択つまみを押してください。
確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。
間違っている場合は、RETURN ボタンを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

② LATIN AMERICA が選ばれたとき：

④ ASIA EXCEPT JAPAN が選ばれたとき：

下の地図でグレーに色付けされた地域でお使いの場合は、NTSC AREA を選んでください。
他の地域でお使いの場合は、PAL AREA を選んでください。

3 メニュー選択つまみを押す。

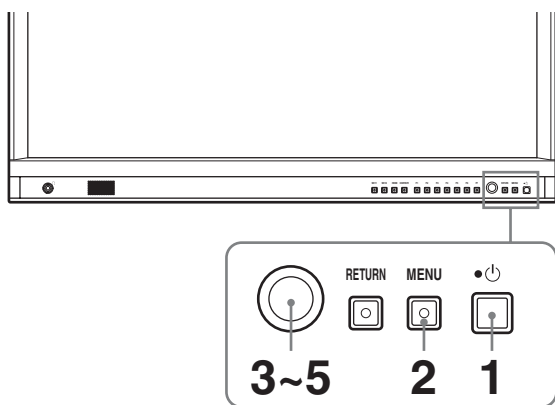
SELECT SETTING 画面が消えて、自動的にメニュー内の各項目が、選択した地域に合った値に設定されます。

ご注意

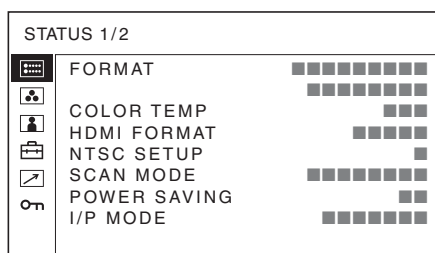
地域を間違えて設定した場合は、メニューを使い以下の項目を変更してください。
- 色温度（25 ページ）
- NTSC セットアップ（26 ページ）
- カラースペース（25 ページ）

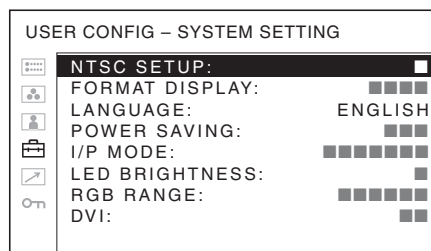
設定値については「地域別基本設定値」（19 ページ）をご覧ください。

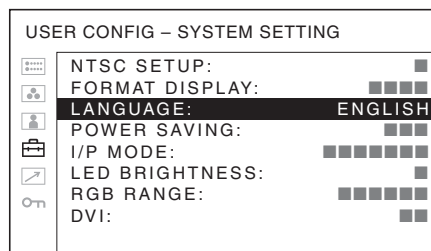
メニュー表示言語の切り換え

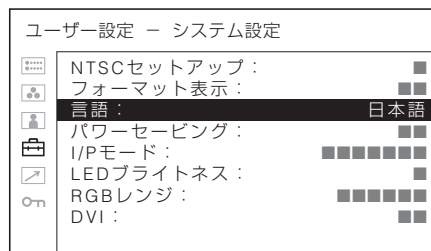
メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語（ENGLISH、FRANÇAIS、DEUTSCH、ESPAÑOL、ITALIANO、日本語、中文）の中から選ぶことができます。
メニューの言語は「ENGLISH（英語）」に初期設定されています。
メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に現在の設定値が表示されます。

1 電源を入れる。

2 MENU ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色で表示されます。

3 メニュー選択つまみを回して USER CONFIG（ユーザー設定 ）メニューの SYSTEM SETTING（システム設定）を選び、メニュー選択つまみを押す。

選んだメニューの設定項目（アイコン）が黄色で表示されます。

4 メニュー選択つまみを回して「LANGUAGE」を選び、メニュー選択つまみを押す。

選んだ項目が黄色で表示されます。

5 メニュー選択つまみを回して表示させたい言語を選び、メニュー選択つまみを押す。

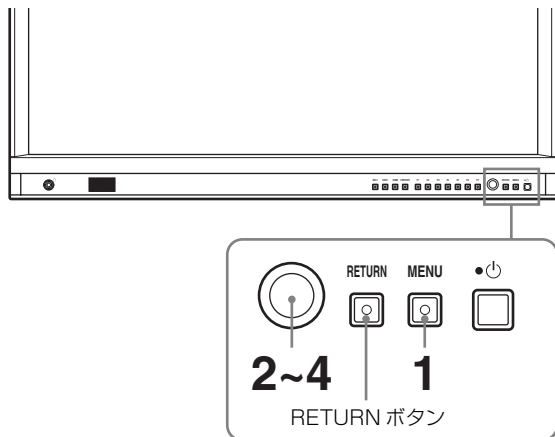
画面表示が選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

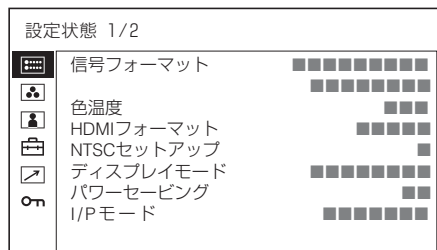
MENU ボタンを押します。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

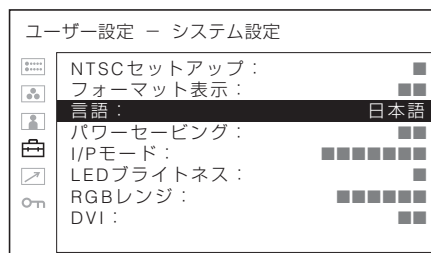
メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

◆ 表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」（21ページ）をご覧ください。

メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に現在の設定値が表示されます。

1 MENU ボタンを押す。

メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色で表示されます。

2 メニュー選択つまみを回してメニューを選び、メニュー選択つまみを押す。

選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。

3 項目を選ぶ。

メニュー選択つまみを回して設定項目を選び、メニュー選択つまみを押します。
変更する項目が黄色で表示されます。
項目が複数メニューページにおよぶ場合、メニュー選択つまみを回して必要なメニューページに入ります。

4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：
数値を大きくするときは、メニュー選択つまみを右に回します。
数値を小さくするときは、メニュー選択つまみを左に回します。
メニュー選択つまみを押すと確定され、元の画面に戻ります。
設定を選ぶ場合：
メニュー選択つまみを回して設定を選び、メニュー選択つまみを押します。
調整や設定値を元に戻す場合：
メニュー選択つまみを押す前に、RETURN ボタンを押します。

ご注意

- 設定項目で黒色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示に変わるとアクセスが可能になります。
- キーロックがオンに設定されている場合、すべての設定項目が黒色表示になります。設定変更が必要な場合は、キーロックをオフに設定し直してから行ってください。

◆ キーロックについて詳しくは、35 ページをご覧ください。

画面を 1 つ前に戻すには

RETURN ボタンを押します。

メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押します。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。

設定状態（表示のみ）

ビデオ入力のとき

信号フォーマット
色温度
HDMI フォーマット
NTSC セットアップ
ディスプレイモード
パワーセービング
I/P モード
機種名およびシリアルナンバー

DVI 入力対応 PC 信号入力のとき

信号フォーマット
水平周波数
垂直周波数
色温度
HDMI フォーマット
パワーセービング
機種名およびシリアルナンバー

ホワイトバランス / カラースペース

色温度
マニュアル調整
カラースペース

ユーザーコントロール

サブコントロール
オートクロマ／フェーズ
ピクチャーコントロール
入力設定

ユーザー設定

システム設定
- NTSC セットアップ
- フォーマット表示
- 言語
- パワーセービング
- I/P モード
- LED ブライトネス

- RGB レンジ
- DVI
- SD ピクセル数選択（LMD-2041W のみ）

マーカー設定
- マーカー表示
- マーカー選択
- センターマーカー
- セーフエリア
- マーカーレベル
- マーカーマット

T/C 画面設定
- T/C
- フォーマット
- 画面位置
- 画像透過度

IMD 設定
- IMD
- 画面位置
- 画像透過度
- テキストカラー
- テキストブライトネス
- タリー 1
- タリー 2

WFM/ALM（ウェーブフォームモニター／オーディオレベルメーター）画面設定
- WFM/ALM
- 表示選択
- 画面位置
- 画像透過度

ファンクションボタン設定
- F1 ボタン
- F2 ボタン
- F3 ボタン
- F4 ボタン
- F5 ボタン
- F6 ボタン
- F7 ボタン

オーディオ設定
- SDI オーディオ設定

リモート

パラレルリモート
シリアルリモート

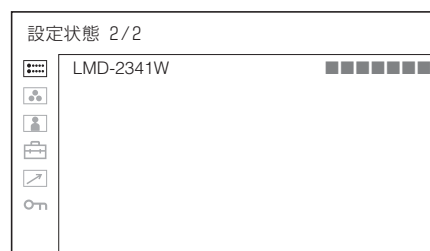
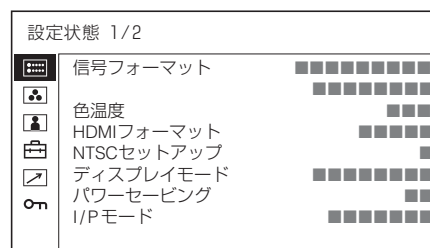
キーロック

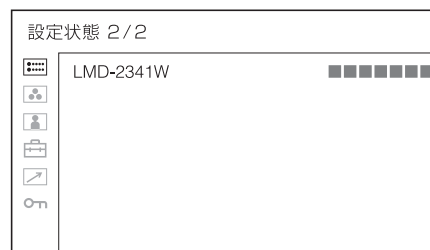
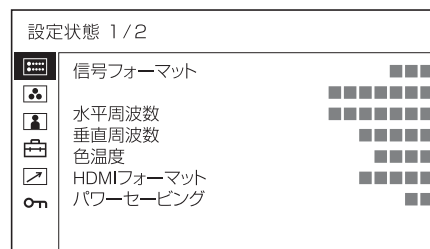
キーロック

調整と設定

設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

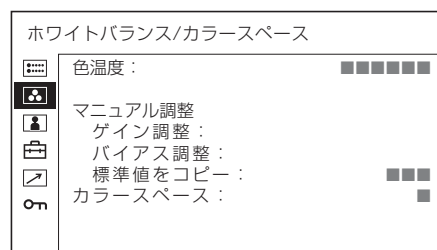
ビデオ入力のとき

- 信号フォーマット
- 色温度
- HDMI フォーマット
- NTSC セットアップ
- ディスプレイモード
- パワーセービング
- I/P モード
- 機種名およびシリアルナンバー

DVI 入力対応 PC 信号入力のとき

- 信号フォーマット
- 水平周波数

- 垂直周波数
- 色温度
- HDMI フォーマット
- パワーセービング
- 機種名およびシリアルナンバー

ホワイトバランス / カラースペースメニュー

画質のホワイトバランス / カラースペースを調整するメニューです。
ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。
推奨品：コニカミノルタ社製カラーアナライザー CA-210

ホワイトバランス/カラースペース
色温度：
マニュアル調整
ゲイン調整：
バイアス調整：
標準値をコピー：
カラースペース：

サブメニュー	設定
色温度	色温度を「D65」、「D93」、「ユーザー設定」から設定します。
マニュアル調整	色温度を「ユーザー設定」にしたとき、表示が黒色から白色に変わり、調整できるようになります。 調整値はメモリーされます。 • **ゲイン調整**：カラーバランス（ゲイン）を調整します。 • **バイアス調整**：カラーバランス（バイアス）を調整します。 • **標準値をコピー**：「D65」または「D93」を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、「ユーザー設定」にコピーされます。
カラースペース	色域を「ITU-709」、「EBU」、「SMPTE-C」、「オフ」から設定します。「オフ」に設定すると液晶パネル本来の色を再現します。

ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。
入力信号によって調整できない項目は黒色で表示されます。

◆ 入力信号と調整・設定項目については、13 ページをご覧ください。

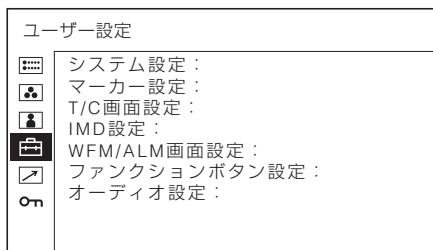
ユーザーコントロール 1/3
サブコントロール
コントラスト：
ブライト：
クロマ：
フェーズ：
アパーチャー：
バックライト：
音量：

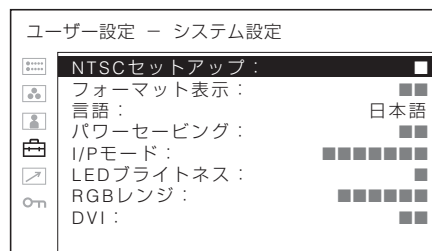
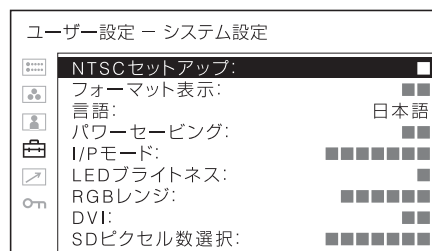
サブメニュー	設定
サブコントロール	コントラスト、ブライト、クロマ、フェーズは、機能を割り付けたファンクションボタンの調整範囲を微調整します。 • **コントラスト**：コントラストを調整します。 • **ブライト**：明るさを調整します。 • **クロマ**：色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。 • **フェーズ**：色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。 • **アパーチャー**：シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかになります。カメラフォーカスがオンのとき、アパーチャーは機能しません。 • **バックライト**：バックライトを調整します。設定値を変えるとバックライトの明るさが変わります。 • **音量**：音量を調整します。

サブメニュー	設定
オートクロマ／フェーズ	色の濃さ（クロマ）と色あい（フェーズ）を調整します。 • **オート調整値**：自動調整値のオン、オフを設定します。「オフ」に設定するとクロマとフェーズの値が工場出荷値となり、「オン」に設定すると自動調整値になります。 • **調整スタート**：カラーバー信号（フル / SMPTE/EIA）を画面に出して、メニュー選択つまみを押すと、自動的にオート調整画面が始まります。調整終了後、MENU ボタンを押すと調整画面が消えます。調整が正常終了した場合、「オート調整値」は自動的に「オン」になります。
ピクチャーコントロール	画像を調整します。 • **ACC（オートカラーコントロール）**：オートカラーコントロール回路のオン、オフを設定します。より正確なクロマレベルを確認したいとき「オフ」にします。通常は「オン」にしておきます。 • **CTI（クロマトランジェントインプルーブメント）**：色の解像度の低い信号を入力時、くっきりした画像を出すことができます。 設定値が大きくなるとくっきりします。 • **垂直シャープネス**：垂直方向にシャープネスを付加してくっきりした画像を出すことができます。 設定値が大きくなるとくっきりします。
入力設定	• **シフト H**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 • **シフト V**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。

ユーザー設定メニュー

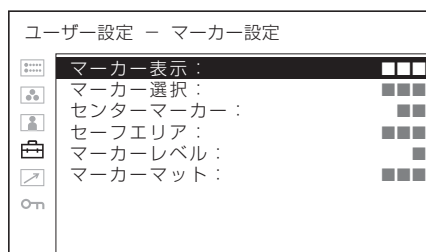
システム設定、マーカー設定、T/C 画面設定、IMD 設定、WFM/ALM 画面設定、ファンクションボタン設定、オーディオ設定を行います。

ユーザー設定
システム設定：
マーカー設定：
T/C画面設定：
IMD設定：
WFM/ALM画面設定：
ファンクションボタン設定：
オーディオ設定：

システム設定

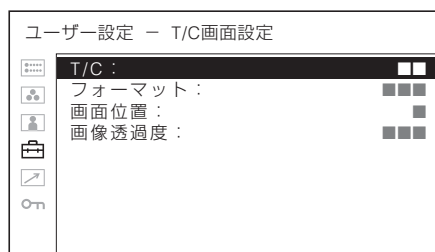
LMD-2341W/LMD-1541W

LMD-2041W

サブメニュー	設定
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本は 0 で、アメリカでは 7.5 で運用されています。このため輸入ソフトには 7.5 のものがあります。
フォーマット表示	フォーマット表示とスキャンモードが表示されます。 • **オン**：常に表示されます。 • **オフ**：表示されません。 • **オート**：信号入力開始後約 5 秒間だけ表示されます。
言語	メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の 7 言語から選択できます。 • **ENGLISH**：英語 • **FRANÇAIS**：フランス語 • **DEUTSCH**：ドイツ語 • **ESPAÑOL**：スペイン語 • **ITALIANO**：イタリア語 • **日本語**：日本語 • **中文**：中国語
パワーセービング	節電モードのオン、オフを設定します。 「オン」に設定すると、本体に信号が入力されない状態が約 1 分以上続くと節電モードになります。

サブメニュー	設定
I/P モード （映像遅延最小）	インターレース信号を入力したとき、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいとき設定します。 • **インタフィールド ***：画質優先のモードです。フィールド間での映像の動きを考慮し、補間を行います。処理時間は他のモードに設定したときより長くなります。 • **フィールドマージ**：処理時間が短くなります。動きを考慮せず、奇数フィールドと偶数フィールドのラインをそのまま交互に組み合わせます。静止画を確認する場合に適しています。 • **ラインダブラー**：処理時間が短くなります。フィールドに関係なく、データの到着順にラインを 2 回ずつ引く補間を行います。ラインフリッカーが見えるので、テロップ制作などのラインフリッカーチェック用途にもご使用いただけます。 * WFM/ALM 画面表示のときは選択できません。
LED ブライトネス	ボタンの LED の明るさを設定します。 • **高**：LED が明るくなります。 • **低**：LED が暗くなります。
RGB レンジ	HDMI 入力で RGB フォーマットの黒レベルと白レベルの値を選択します。 • **FULL**：0（黒レベル）～ 255（白レベル） • **LIMITED**：16（黒レベル）～ 235（白レベル）
DVI	DVI 信号の入力フォーマットを選択します。 • **PC**：RGB 信号を入力するとき • **VIDEO**：YPBPR 信号を入力するとき

サブメニュー	設定
SD ピクセル数選択 （LMD-2041W のみ）	COMPOSITE IN 端子からの入力信号に応じて SD 画像のサイズ（ピクセル数）を選択します。 **画像サイズが 720 × 487 (60i)（または 720 × 576 (50i)）の信号を入力するとき** 「720 × 487」（または「720 × 576」）に設定します。標準設定です。 「712 × 483」（または「702 × 576」）に設定すると、画像の縁が数ピクセル分欠けた状態で表示されます。 **画像サイズが 712 × 483 (60i)（または 702 × 576 (50i)）相当の信号を入力するとき** 「712 × 483」（または「702 × 576」）に設定します。 「720 × 487」（または「720 × 576」）に設定すると、周囲に数ピクセル分の黒枠が付いた画像として表示されます。

マーカー設定

サブメニュー	設定
マーカー表示	マーカーを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。 **ご注意** スキャン設定で「ネイティブ」を選択している場合、マーカーを表示できません。マーカーを表示したい場合は「ネイティブ」以外を選択してください。
マーカー選択	フィルムのフレーム枠を画面に表示させるとき、フィルムに合わせてアスペクト比を選択できます。 **アスペクト機能を割り当てたボタンで 16:9 が選ばれているとき** 4:3、15:9、14:9、13:9、1.85:1、2.35:1、1.85:1 & 4:3、オフから選択します。 **アスペクト機能を割り当てたボタンで 4:3 が選ばれているとき** 16:9 またはオフを選択します。

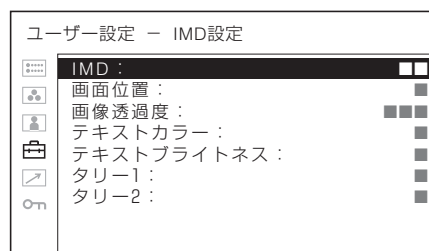
サブメニュー	設定
センターマーカー	画像のセンターを表すマーカーを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
セーフエリア	アスペクト機能を割り当てたボタンで設定したアスペクト比に対するセーフエリアサイズを選択できます。オフ、80%、85%、88%、90%、93% から選択します。 マーカーが表示されているときはマーカーに対するセーフエリアを表示します。
マーカーレベル	「マーカー選択」と「センターマーカー」、「セーフエリア」表示の輝度を設定します。1 から 3 に設定することができます。設定値が小さくなると暗くなります。
マーカーマット	マーカー表示の外側の部分の画像にマットをかけるかどうかを設定します。 • **オフ**：マットの設定をしません。 • **ハーフ**：画像が暗くなるマットをかけます。 • **ブラック**：黒いマットをかけます。

T/C（タイムコード）画面設定

サブメニュー	設定
T/C	タイムコード画面を表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
フォーマット	タイムコードのフォーマットを設定します。 • **VITC**：VITC フォーマットで表示するとき選択します。 • **LTC**：LTC フォーマットで表示するとき選択します。
画面位置	タイムコードの表示位置を設定します。1 または 2 を選択できます。 • **1**：上 • **2**：下 **ご注意** IMD 表示されているときは設定を変更できません。IMD の「画面位置」とタイムコードの「画面位置」の設定が同じ場合、IMD の「画面位置」の設定が優先されます。
画像透過度	T/C 画面表示の背景をブラックとハーフ（透過）から選択できます。 • **ブラック**：背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。 • **ハーフ**：背景が透けます。表示していた画像は T/C 画面の後ろに透けて表示されます。

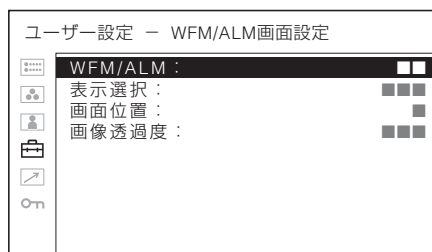
IMD（インモニターディスプレイ）設定

本機は Television Systems Ltd 社の「TSL UMD Protocol - V5.00」に対応しています。
メニューで設定できる項目は、タリー 1 とタリー 2 の表示色、テキストの色と輝度です。

ご注意

- 本機で IMD 表示するときは、TSL プロトコルの設定で、「SCREEN」と「INDEX」を「0x0000」にしてください。
- 本機で表示できる文字は、アルファベット（英語）、数字、記号、ひらがな、カタカナです。ただし、一部表示できない記号があります。
- 本機で表示できる最大文字数は、英数字記号および濁点／半濁点なしのひらがなとカタカナで 16 文字です。濁点／半濁点は、1 文字にカウントされます。

サブメニュー	設定
IMD	IMD 表示をするとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
画面位置	IMD の表示位置を設定します。1 または 2 を選択できます。 • **1**：上 • **2**：下

サブメニュー	設定
画像透過度	IMD 表示の背景を、ブラックとハーフ（透過）から選択できます。 • **ブラック**：背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。 • **ハーフ**：背景が透けます。表示していた画像は IMD 表示の後ろに透けて表示されます。
テキストカラー	IMD 表示する文字色の設定をします。 0（コマンド指示色）を選択すると、TSL コマンドで指定した設定になります。0 以外を選択すると、コマンド指定に関係なく、設定した色で文字が表示されます。 • **0**：コマンド指示色 • **1**：白色 • **2**：赤色 • **3**：緑色 • **4**：青色 • **5**：黄色 • **6**：シアン色 • **7**：マゼンダ色 • **8**：アンバー色
テキストブライトネス	IMD 表示する文字の輝度を設定します。 0（コマンド指示輝度）を選択すると、TSL コマンドで指定した設定になります。0 以外を選択すると、コマンド指定に関係なく、設定した輝度で文字が表示されます。 • **0**：コマンド指示輝度 • **1**：100% • **2**：50% • **3**：14%
タリー 1	IMD 表示でのタリー 1 の色設定をします。 0（コマンド指示色）を選択すると、TSL コマンドで指定した設定になります。0 以外を選択すると、コマンド指定に関係なく、設定した色で文字が表示されます。 • **0**：コマンド指示色 • **1**：白色 • **2**：赤色 • **3**：緑色 • **4**：青色 • **5**：黄色 • **6**：シアン色 • **7**：マゼンダ色 • **8**：アンバー色
タリー 2	IMD 表示でのタリー 2 の色設定をします。 0（コマンド指示色）を選択すると、TSL コマンドで指定した設定になります。0 以外を選択すると、コマンド指定に関係なく、設定した色で文字が表示されます。 • **0**：コマンド指示色 • **1**：白色 • **2**：赤色 • **3**：緑色 • **4**：青色 • **5**：黄色 • **6**：シアン色 • **7**：マゼンダ色 • **8**：アンバー色

WFM/ALM（ウェーブフォームモニター／オーディオレベルメーター）画面設定

サブメニュー	設定
WFM/ALM	WFM/ALM 画面表示をするとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。 **ご注意** WFM/ALM 画面表示をすると、マーカーの機能は使用できません。
表示選択	• **WFM**：波形モニターを表示します。 • **ALM**：オーディオレベルメーターを表示します。 WFM を選択すると、波形と音声レベルが表示されます。ALM を選択すると、音声レベルが 8 チャンネル分表示されます。 WFM と ALM の音声レベルは、SDI 入力時に SDI オーディオ設定でチャンネルを選択したときに表示されます。 波形（WFM 選択時のみ）と音声レベルは下図の内容を示しています（実際には、波形図のパーセンテージ、音声レベルのスケールの単位や数値は画面に表示されません）。

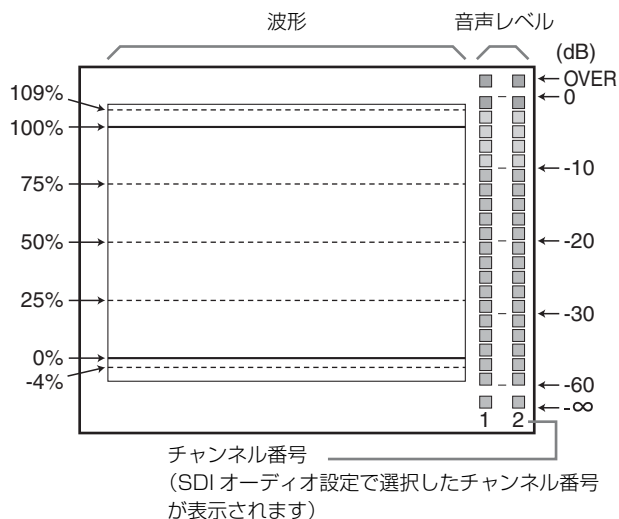
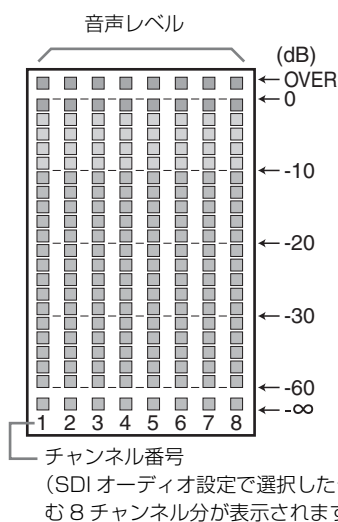
サブメニュー	設定
WFM を選択したとき	

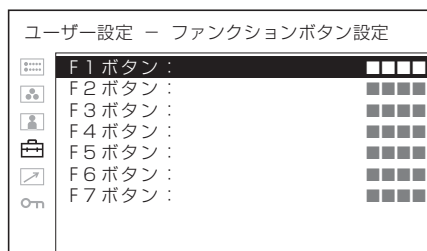
波形　音声レベル

(dB)
OVER
0
-10
-20
-30
-60
-∞
109%
100%
75%
50%
25%
0%
-4%
1 2

チャンネル番号
（SDI オーディオ設定で選択したチャンネル番号が表示されます）

ALM を選択したとき

チャンネル番号
（SDI オーディオ設定で選択したチャンネルを含む 8 チャンネル分が表示されます）

サブメニュー	設定
画面位置	WFM/ALM 画面の表示位置を設定します。1 から 4 の中から選択できます。 • **1**：左下 • **2**：右下 • **3**：右上 • **4**：左上
画像透過度	WFM/ALM 画面表示の背景を、ブラックとハーフ（透過）から選択できます。 • **ブラック**：背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。 • **ハーフ**：背景が透けます。表示していた画像は WFM/ALM 画面の後ろに透けて表示されます。

ファンクションボタン設定

サブメニュー	設定
F1 ボタンから F7 ボタン	前面パネルの F1 ボタンから F7 ボタンに機能を割り当て、機能をオン / オフすることができます。 スキャン、アスペクト、ブルーオンリー、MONO、マーカー、I/P モード、WFM/ALM などを割り当てることができます。 **工場出荷時の設定** • **F1 ボタン**：ブライト • **F2 ボタン**：コントラスト • **F3 ボタン**：クロマ • **F4 ボタン**：スキャン • **F5 ボタン**：H/V ディレイ • **F6 ボタン**：音量 • **F7 ボタン**：I/P モード

ファンクションボタンに割り当てられる機能について

スキャン

画像のスキャンサイズを変えたいときボタンを押します。4:3 画面のときは押すたびにノーマルスキャン→オーバースキャン→ネイティブに切り換わります。16:9 画面のときは押すたびにノーマルスキャン→オーバースキャン→フルスクリーン→ネイティブに切り換わります（31 ページ「スキャンモードイメージ」参照）。

アスペクト

画面のアスペクト（縦横比）を変えたいときボタンを押して 4:3 または 16:9 を選びます。

ご注意

LMD-1541W は 15:9 パネルのため、16:9 表示をすると上下に黒い帯が出ますが故障ではありません。（「スキャンモードイメージ」（31 ページ）をご覧ください。）

ブルーオンリー

赤と緑の信号をカットし、青信号のみを白黒画像として表示したいときボタンを押します。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、信号のノイズの監視が容易に行えます。

MONO（白黒）
画面を白黒にしたいときボタンを押します。もう一度押すとカラーに戻ります。

マーカー
マーカーを表示したいときボタンを押します。アスペクトマーカーの設定はマーカー設定メニューで行います（27 ページ）。

H/V （水平 / 垂直）ディレイ
水平、垂直同期信号をモニターしたいときボタンを押します。

WFM/ALM
WFM/ALM 画面表示をしたいときボタンを押します。WFM/ALM 画面の設定は WFM/ALM 画面設定メニューで行います（29 ページ）。

ブライト
ボタンを押すと調整画面が表示され、明るさを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。

コントラスト
ボタンを押すと調整画面が表示され、コントラストを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すとコントラストが強くなり、左に回すと弱くなります。

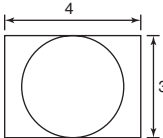
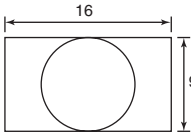
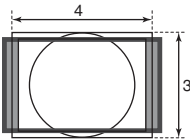
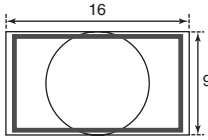
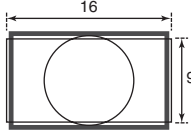
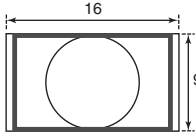
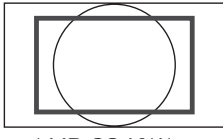
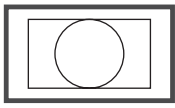
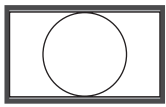
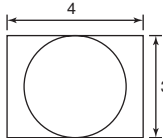
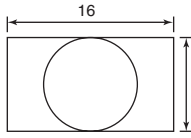
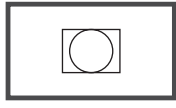
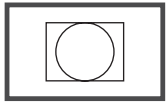
クロマ
ボタンを押すと調整画面が表示され、色の濃さを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと色が濃くなり、左に回すと薄くなります。

音量
ボタンを押すと調整画面が表示され、音量を調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。

I/P モード
インターレース信号を入力時、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいときボタンを押します。押すたびにインタフィールド➞フィールドマージ➞ラインダブラーに切り換わります（27 ページ「I/P モード」参照）。

フェーズ
ボタンを押すと調整画面が表示され、色相を調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと緑がかり、左に回すと紫がかります。

アパーチャー
ボタンを押すと調整画面が表示され、シャープネスを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すとくっきりとし、左に回すとやわらかになります。

カメラフォーカス
カメラのフォーカスを確認したいときボタンを押します。輪郭が強調された画像が表示されます。

T/C
タイムコード画面を表示したいときボタンを押します。T/C 画面の設定は T/C 画面設定で行います（28 ページ）。

IMD
IMD を表示したいときボタンを押します。IMD 表示の設定は IMD 設定で行います（28 ページ）。

スキャンモードイメージ

入力信号	4:3	16:9
オーバースキャン（5% オーバースキャン）	LMD-2341W：1512 × 1080 LMD-2041W：1200 × 900 LMD-1541W：1024 × 768	LMD-2341W：1920 × 1080 LMD-2041W：1600 × 900 LMD-1541W：1280 × 720
フルスクリーン	–	LMD-1541W：1280 × 768
ネイティブ（1080i、1080P）	–	LMD-2041W：1600 × 900 LMD-1541W：1280 × 768
	表示位置を切り換えることにより、パネルサイズを超えた範囲を表示させることができます（32 ページ）。	
ネイティブ（720P）	–	 LMD-2341W：1280 × 720 LMD-2041W：1280 × 720 LMD-1541W：1280 × 720

ネイティブ（480i、575i、480P、576P）	 LMD-2341W： 712 × 483/ 720 × 487(480i) 720 × 480(480P) 702 × 576/ 720 × 576(575i) 720 × 576(576P) LMD-2041W： 712 × 483/ 720 × 487(480i) 720 × 480(480P) 702 × 576/ 720 × 576(575i) 720 × 576(576P) LMD-1541W： 712 × 483/ 720 × 487(480i) 720 × 480(480P) 702 × 576/ 720 × 576(575i) 720 × 576(576P)	–
	画像をアスペクト比 4:3 で表示させるために、水平方向にスケール処理しています。	

表示位置を切り換える（LMD-2041W/LMD-1541W）

スキャンモードがネイティブで 1080i または 1080P 信号のとき、パネルサイズを超えた画像が欠けて表示されます。このとき、表示する位置を画面の中央、左上、右上、右下、左下のいずれかから選択することで、パネルサイズを超えた範囲を表示できます。ネイティブに切り換えたときは中央が自動選択されます。

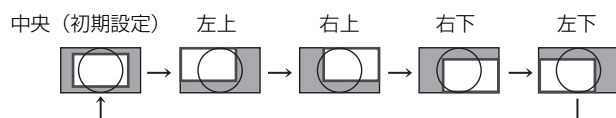
表示位置を切り換えるには

1 スキャンを割り当てたファンクションボタンを押して、ネイティブに切り換える。

中央の画像が表示されます。

2 メニュー選択つまみを回して希望の位置を表示させる。

表示する位置が以下の順で切り換わります。（メニュー選択つまみを時計方向に回したとき）

中央（初期設定）　左上　右上　右下　左下

ご注意

信号切り換え、フォーマット切り換えなどで中央（初期設定）に戻ります。

3 元の表示に戻すには、スキャンを割り当てたファンクションボタンを押して、ほかのスキャンモードに切り換える。

オーディオ設定

サブメニュー	設定
SDI オーディオ設定	SDI 入力時に音声チャンネルを設定します。 • **3G/HD/SD**：CH1 から CH16 までのチャンネルと、奇数チャンネル＋偶数チャンネル（CH1+CH2、CH3+CH4…CH15+CH16）、オフから選択できます。 WFM/ALM 画面表示をしているとき、設定したチャンネルの L/R の音声レベルを画面に表示することができます。 （「WFM/ALM（ウェーブフォームモニター／オーディオレベルメーター）画面設定」（29 ページ）をご覧ください。） • **スピーカーアウト**：スピーカー出力させる音声信号（ヘッドホン端子、AUDIO OUT 端子を含む）を選択します。「エンベディッド」を選択すると SDI 信号に埋め込まれた音声が出力されます。「アナログ」を選択すると AUDIO IN 端子へ入力された音声が出力されます。

リモートメニュー

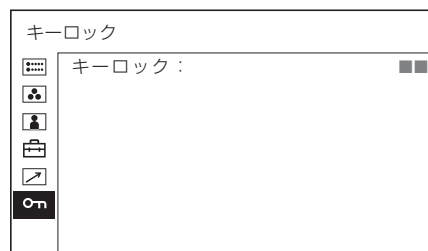
パラレルリモート

サブメニュー	設定
パラレルリモート	PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。 1～4、6～8ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。 • - - -（「- - -」は機能の割付なし。） • コンポジット • HDMI • SDI 2 • SDI 1 • WFM/ALM • オーバースキャン • フルスクリーン • ノーマル • ネイティブ • 4：3 • 16：9 • タリー赤 • タリー緑 • ブルーオンリー • MONO • H/V ディレイ • 16：9 マーカー • 15：9 マーカー • 14：9 マーカー • 13：9 マーカー • 1.85：1 マーカー • 2.35：1 マーカー • 1.85:1 & 4:3 マーカー • 4：3 マーカー • センターマーカー • マーカーマット ハーフ • マーカーマット ブラック • セーフエリア 80%* • セーフエリア 85%* • セーフエリア 88%* • セーフエリア 90%* • セーフエリア 93%* * LMD-2041W のみ設定できます。 **ご注意** • パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。詳しくは38ページをご覧ください。 • アスペクトマーカーやセンターマーカーをコントロールするには、マーカー設定のマーカー表示（27ページ）をオンに設定してください。

サブメニュー	設定
フォースドタリー	PARALLEL REMOTE 端子の7ピンと8ピンにタリーランプ機能を強制的に割り付けます。「オン」に設定すると7ピンにタリー緑、8ピンにタリー赤が割り付けられます。 • **オン**：強制設定するとき • **オフ**：強制設定しないとき **ご注意** 「オフ」に設定して7ピン、8ピンにタリー以外の機能を割り付けた後で「オン」に設定すると、7ピン、8ピンは強制的にタリー機能になり、以前の割り付けは無効になります。

シリアルリモート

サブメニュー	設定
シリアルリモート	使用するモードを選択します。 • **オフ**：シリアルリモートは機能しません。 • **イーサーネット**：イーサーネットのコマンドでモニターをコントロールします。 • **BKM-15R/16R**：BKM-15R/16R の設定をします。
モニター	モニターの設定を行います。 **モニター ID**：モニターの ID を設定します。 **グループ ID**：モニターのグループ ID を設定します。 **IP アドレス**：IP アドレスを設定します。 **サブネットマスク**：サブネットマスクを設定します。（255.255.255.000） **デフォルトゲートウェイ**：デフォルトゲートウェイを設定するかどうか（オン、オフ）を設定します。 **アドレス**：デフォルトゲートウェイを設定します。 **取消**：変更、確定された設定を変更前に戻します。 **確認**：変更、確定された設定を保存、反映します。
コントローラー	リモートコントローラーのアドレスを設定します。 **IP アドレス**：IP アドレスを設定します。 **サブネットマスク**：サブネットマスクを設定します。（255.255.255.000） **デフォルトゲートウェイ**：デフォルトゲートウェイを設定するかどうか（オン、オフ）を設定します。 **アドレス**：デフォルトゲートウェイを設定します。 **取消**：変更、確定された設定を変更前に戻します。 **確認**：変更、確定された設定を保存、反映します。
コネクション	本体とコントローラーの接続を設定します。 **PEER TO PEER**：1 対 1 で接続します。 **LAN**：ネットワーク経由で接続します。

キーロックメニュー

各種設定項目の変更が効かないように、キーロックをかけることができます。
オフまたはオンを選択します。
「オン」に設定した場合、ほかのメニューの設定項目はすべて黒色表示となり、変更できなくなります。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- **操作ボタンを押しても操作できない** → キーロックが働いています。キーロックメニューでキーロックの設定をオフに切り換えてください。
  または機能しない項目が割り当てられています。
  RETURN（リターン）ボタンを押して割り当てられている機能を確認してください。
- **画面の上下に黒い帯が出る** → 信号のアスペクト比とパネルのアスペクト比が異なるときは、上下に黒い帯が出ますが、故障ではありません。
- **調整や設定ができない** → 入力信号や設定状況によっては調整や設定ができないことがあります。入力信号と調整項目（13 ページ）を確認してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付保証書の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系

パネル　a-Si TFT アクティブマトリクス LCD
画像サイズ　LMD-2341W：584.2 mm
LMD-2041W：508.05 mm
LMD-1541W：388.6 mm
表示エリア（H × V）
LMD-2341W：509.1 × 286.4 mm
LMD-2041W：442.8 × 249.1 mm
LMD-1541W：334.1 × 200.5 mm
解像度（H × V）
LMD-2341W：1920 × 1080 ピクセル
LMD-2041W：1600 × 900 ピクセル
LMD-1541W：1280 × 768 ピクセル
アスペクト比　LMD-2341W/LMD-2041W：16:9
LMD-1541W：15:9
有効画素数　99.99%
視野角（パネルの仕様）
89°/89°/89°/89°（上 / 下 / 左 / 右、コントラスト > 10:1）
ノーマルスキャン
0%
オーバースキャン
5%

入力

コンポジット入力（NTSC/PAL）
BNC（× 1）、1 Vp-p ± 3 dB 負同期
SDI 入力　BNC（× 2）
HDMI 入力　HDMI （× 1）（HDCP 対応）
音声入力　ステレオミニジャック（× 1）、－ 5 dBu 47 kΩ 以上
パラレルリモート
モジュラーコネクター 8 ピン（× 1）
シリアルリモート（LAN）
RJ-45（× 1）（Ethernet、10BASE-T/100BASE-TX）
DC IN　LMD-2341W：DC 24 V
出力インピーダンス 0.05 Ω 以下
LMD-2041W/LMD-1541W：DC 12 V
出力インピーダンス 0.05 Ω 以下

出力

コンポジット出力
BNC（× 1）、ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き
SDI 出力　BNC（× 1）、出力信号振幅：800 mVp-p ± 10%、出力インピーダンス：75 Ω 不平衡
音声モニター出力
ステレオミニジャック（× 1）
内蔵スピーカー出力
LMD-2341W/LMD-2041W：1.0 W モノラル出力
LMD-1541W：0.5 W モノラル出力

一般

電源　LMD-2341W：AC 100 V ～ 240 V、0.8 A ～ 0.4 A、50/60 Hz
DC 24 V、2.4 A
LMD-2041W：AC 100 V ～ 240 V、0.8 A ～ 0.4 A、50/60 Hz
DC 12 V、4.4 A
LMD-1541W：AC 100 V ～ 240 V、0.8 A ～ 0.4 A、50/60 Hz
DC 12 V、3.4 A
消費電力　LMD-2341W：約 70 W（最大）
LMD-2041W：約 66 W（最大）
LMD-1541W：約 50 W（最大）
動作温度　0°C ～ 35°C
推奨使用温度：20°C ～ 30°C
動作湿度　30% ～ 85%（結露のないこと）
保存・輸送温度
－ 20°C ～ +60°C
保存・輸送湿度
0% ～ 90%
動作・保存・輸送気圧
700 hPa ～ 1060 hPa
付属品　AC 電源コード（1）
AC プラグホルダー（1）
コントロールパネルカバー（1）（LMD-2341W のみ）
コントロールパネルカバー用ネジ（3）（LMD-2341W のみ）
取扱説明書（1）
CD-ROM（1）
CD-ROM マニュアルの使いかた（1）
保証書（1）
マウンティングブラケット（2）（LMD-2041W のみ）
マウンティングブラケット用ネジ（8）（LMD-2041W のみ）

スタンド（2）
　　　　　　スタンド用ネジ（6）
別売品　　　マウンティングブラケット
　　　　　　　MB-534（LMD-1541W 用）
　　　　　　モニタースタンド
　　　　　　　SU-561
　　　　　　　SU-562（LMD-1541W 用）

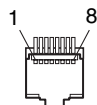
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

PARALLEL REMOTE 端子

モジュラーコネクター
（8 ピン）

ピン番号	機能
1	入力信号 SDI 1 を指定
2	入力信号 HDMI を指定
3	入力信号コンポジットを指定
4	タリー緑
5	GND
6	タリー赤
7	オーバースキャン
8	ノーマル

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます（33 ページ）。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使用したい機能をアース（5 ピン）に接続します。

対応信号フォーマット

本機は下記信号方式に対応しています。

システム	コンポジット	SD/HD	3G	HDMI
575/50I（PAL）	○	○	–	○
480/60I（NTSC）*3	○	○	–	○
576/50P	–	–	–	○
480/60P *3	–	–	–	○
640 × 480/60P *3	–	–	–	○
1080/24PsF *1*3	–	○	–	–
1080/25PsF *2	–	○	–	–
1080/24P *3	–	○	–	○
1080/25P	–	○	–	○
1080/30P *3	–	○	–	○
1080/50I	–	○	–	○
1080/60I *3	–	○	–	○
720/50P	–	○	–	○ *4
720/60P *3	–	○	–	○ *4
1080/50P	–	–	○ *5	○ *4
1080/60P *3	–	–	○ *5	○ *4

○：調整・設定できる信号
–：調整・設定できない信号

*1 画面上のフォーマットは 1080/48I と表示されます。
*2 画面上のフォーマットは 1080/50I と表示されます。
*3 フレームレート 1/1.001 にも対応しています。
*4 HDMI IN 端子に DVI 変換ケーブルを接続して DVI 信号を入力した場合にも対応しています。
*5 4:2:2 YCbCr 10 ビットに対応しています。

DVI 入力対応 PC 信号

HDMI IN 端子に DVI 変換ケーブルを接続して入力した DVI 信号の場合

解像度	ドットクロック（MHz）	fH（kHz）	fV（Hz）
640 × 480	25.175	31.5	60
1280 × 768	68.250	47.4	
1280 × 1024	108.000	64.0	
1360 × 768	85.500	47.7	
1440 × 900	88.750	55.5	
1680 × 1050	119.000	64.7	

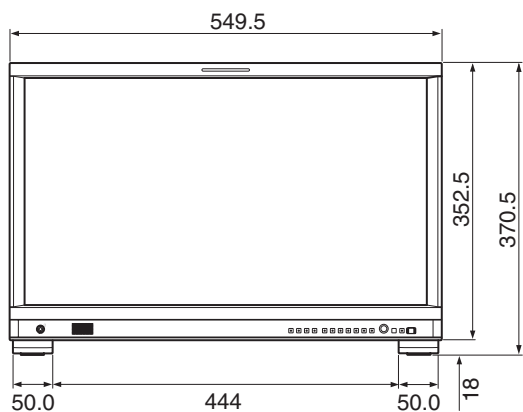
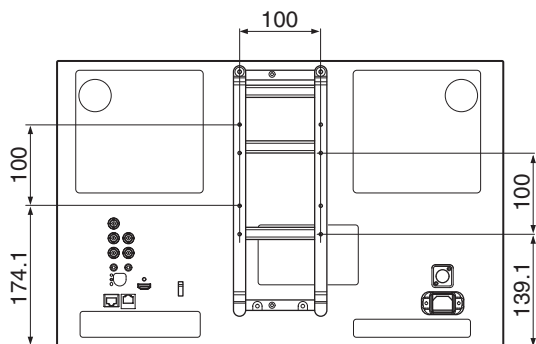
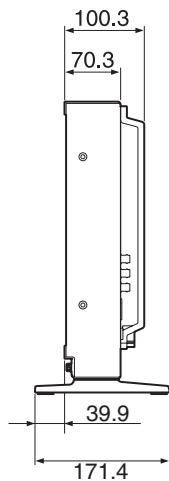
ご注意

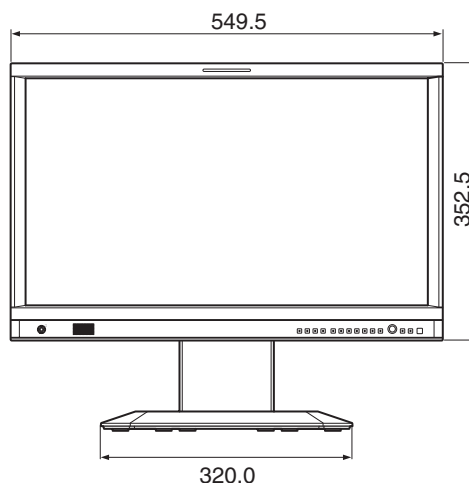
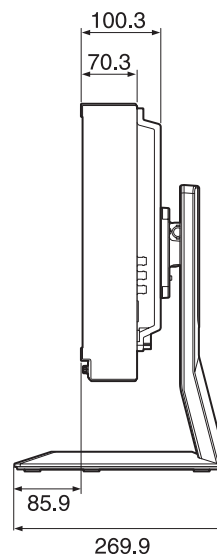
信号によっては、画像の端が欠けて表示される場合があります。

寸法図

LMD-2341W

前面（付属のスタンド装着時）

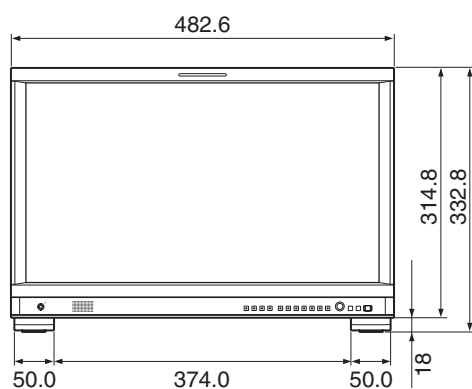
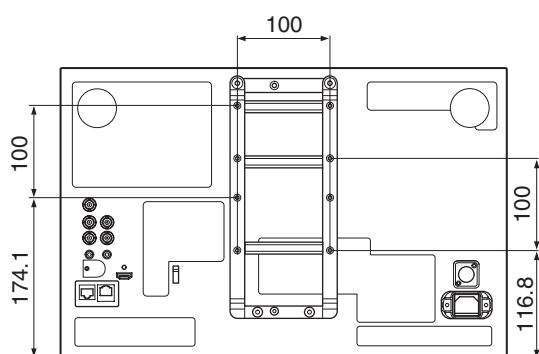
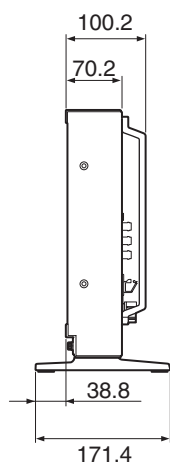
後面

側面（付属のスタンド装着時）

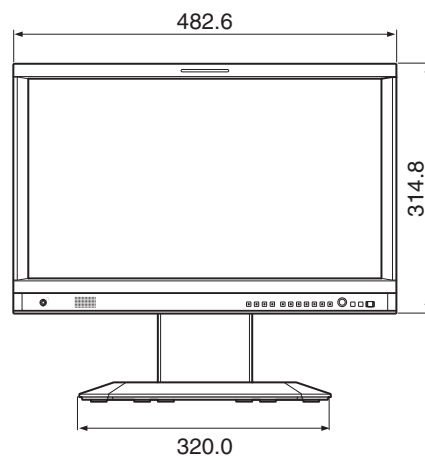
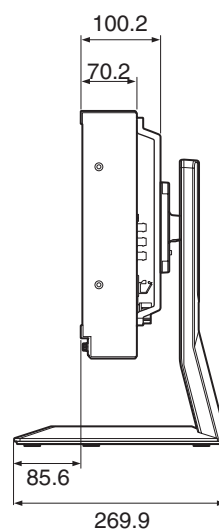
前面（別売のモニタースタンド SU-561 装着時）

側面（別売のモニタースタンド SU-561 装着時）

単位：mm

質量：約 9.2 kg（モニタースタンド未装着時）
約 9.4 kg（付属スタンド装着時）
約 11.3 kg（モニタースタンド SU-561 装着時）

LMD-2041W

前面（付属のスタンド装着時）

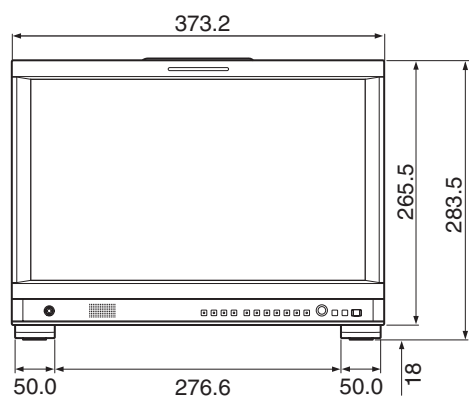
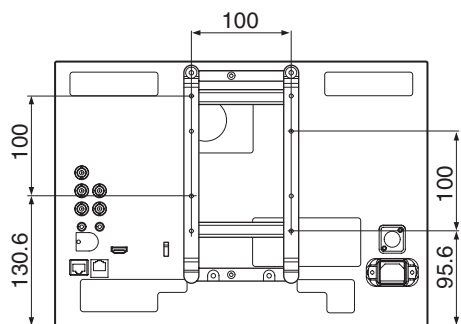
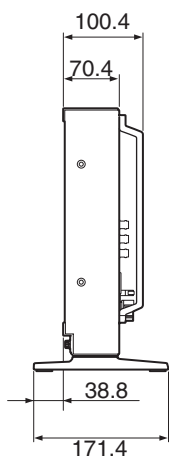
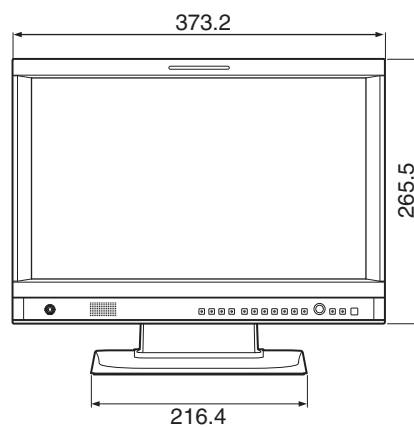
後面

側面（付属のスタンド装着時）

前面（別売のモニタースタンド SU-561 装着時）

側面（別売のモニタースタンド SU-561 装着時）

単位：mm

質量：約 6.7 kg（モニタースタンド未装着時）
約 6.9 kg（付属スタンド装着時）
約 8.8 kg（モニタースタンド SU-561 装着時）

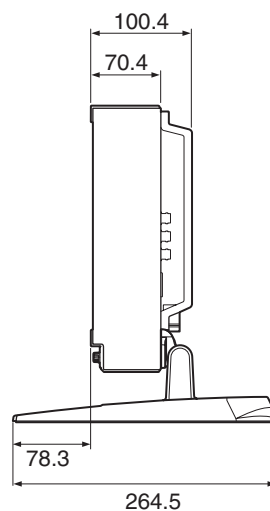
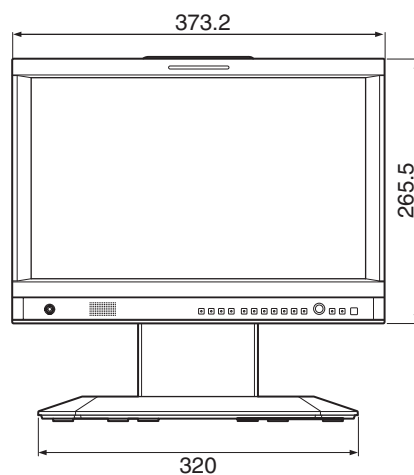
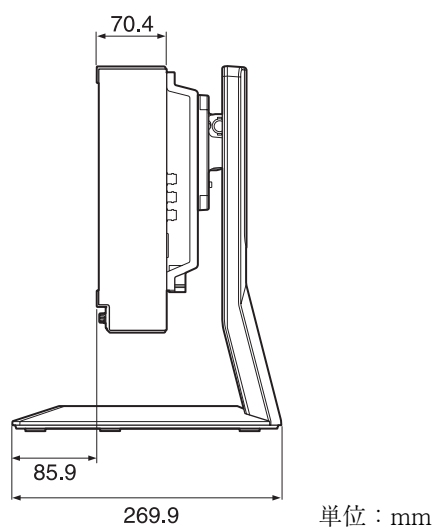
LMD-1541W

前面（付属のスタンド装着時）

後面

側面（付属のスタンド装着時）

前面（別売のモニタースタンド SU-562 装着時）

側面（別売のモニタースタンド SU-562 装着時）

前面（別売のモニタースタンド SU-561 装着時）

側面（別売のモニタースタンド SU-561 装着時）

単位：mm

質量：約 5.1 kg（モニタースタンド未装着時）
約 5.3 kg（付属スタンド装着時）
約 6.8 kg（モニタースタンド SU-562 装着時）
約 7.2 kg（モニタースタンド SU-561 装着時）

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/